

2008年度 日本文化人類学会  
第4回 理事会 議事録(案)

日時：2008年10月12日（日） 14：00～17：00

会場：上智大学 四谷キャンパス 2号館2階630a教室

出席者：山本、赤堀、上杉、太田、大塚、葛野、窪田、栗田、桑山、坂井、佐々木、須藤、  
名和、松田、和崎

委任状提出：鏡味、春日、岸上、瀬川、関根、鷹木、吉岡

**〔承認事項〕**

1. 前回（2008年度第3回）理事会議事録を一部文言訂正の上承認。
2. 新入会員（10名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上承認。
3. 京都大学人文科学研究所及び京都大学東南アジア研究所の共同利用・共同研究拠点化に関する要望書を会長名で送付したことを報告、事後承認された。
4. 2010年9月12日（日）～9月18日（土）に京都大学で開催予定の国際霊長類学会大会について後援依頼があったことを報告、本学会の後援が承認された。

**〔報告事項〕**

1. 会長報告
  - ・ 上述の国際霊長類学会大会について後援依頼があったこと、American Anthropological Association(AAA)より朝食会の招待があったが都合により欠席することを報告。
2. 庶務理事報告
  - ・ 退会手続案内・フォームを作成し学会ホームページ上で公開することを報告。これにより、退会希望者は事務局へ退会届を送付し、事務局から退会処理後に退会通知を送付することとした。
  - ・ 故鈴木二郎会員遺族へお悔やみ状と御霊前のお花を送付したことを報告。
  - ・ 朝日賞に推薦書を送付したことを報告。
  - ・ 「日経アジア賞」の推薦依頼があったが、授賞対象が特定の地域を対象とした研究に限定されているため本学会からは推薦しないこととしたことを報告。
  - ・ 会員名簿（2008）の誤記載について会員から指摘があり、対応については総務会で検討することとしたことを報告。
  - ・ 評議員に対し学会賞候補者推薦依頼書と投票用紙を送付したこと、本日10月12日に総務会で開票を行なったこと及び集計結果を報告した。なお、この集計結果は評議員会へ報告後、学会賞選考委員長へ推薦書を発送することとした。
  - ・ 「倫理綱領」を学会誌の表紙裏及び学会名簿に掲載したことを報告。
  - ・ 本学会が「アイヌ民族の権利確立を考える議員の会」に送付したアイヌ関連見解文書等の内閣官房ホームページへの掲載を承諾したことを報告。
3. 会計理事報告
  - ・ 学会誌バックナンバーの販売について、過去10年分は保管し、それ以前のは各5冊保存の上、残部を一律1冊500円で数年に1度会員向けに販売することを報告。
  - ・ 平成21年度科学研究費補助金の計画調書を提出に向け準備中であることを報告。
4. 総務理事報告

- ・人類学関連学会協議会が日本学術会議の協力学術研究団体となるよう申請予定であること、2009年度人類学関連学会協議会合同シンポジウムのテーマが「飽食」に決定したことを報告。
5. 広報理事報告
- ・会員宛名シールを国際会議の周知に使用したいとの問い合わせが会員からあったが2005年度総会での決定に従い断ったこと、総務会で検討の結果、今後は後援・共催の場合には提供可とすることを報告。
  - ・2009年度学会主催シンポジウムの担当希望者を募集。
6. 各種委員会報告
- ・ *JRCA* 編集委員会：*JRCA* Vol.1.9の進捗状況について報告。また、編集方針・要望について次の報告があった。
    - ① 学会が翻訳料を負担した上での学会賞授賞論文の掲載
    - ② 著者自身の翻訳の上で学会奨励賞授賞論文の掲載
    - ③ 自主投稿の受付継続（ただし、「日本語の文献、日本の人類学との関連があるもの」という一文を寄稿規定に付加したい）
    - ④ 第3回学会賞・学会奨励賞受賞者に *JRCA* 寄稿依頼を行なうことについて（学会賞選考規定改定の必要性）
    - ⑤ 海外機関への *JRCA* 配布、及び丸善との販売委託契約の見直しの必要性
 理事会における検討の結果、①②については、今年度は学会負担による翻訳は予算上不可能だが、編集主任の責任において各受賞者が翻訳を行なう前提で寄稿依頼を行なうことは差し支えないとした。④の学会賞受賞論文を *JRCA* に掲載することの可否については、学会賞選考規定の改正を提案する必要があることを確認した。⑤については、総務会で検討することとした。
  - ・国際連携委員会：国際人類・民族科学連合（IUAES）へ会費値上げについて問い合わせの手紙を会長名で作成、発送予定であることを報告。
  - ・国立民族学博物館連携委員会：人類学者の映像記録の会員への公開を進めることを国立民族学博物館と確認したが、学会事務局保管中のビデオテープを確認したところ劣化が著しいため国立民族学博物館に寄託という形で保管検討中であることを報告。どのような形でデジタル化を委託するか等については次回以降の理事会で検討を行なうこととした。
  - ・学会歴史委員会：旧民族学振興会所有のデジタル化済資料を閲覧に向け公開方法を検討中であることを報告。
  - ・研究大会運営検討委員会：第44回研究大会の開催が立教大学に決定したことを報告。また、研究大会の「長期的課題」に関して意見伺いを実施したこと、集まった意見をホームページ上に公開予定であることを報告。
  - ・第43回研究大会：第1回サーキュラーが公開されたこと及び準備の状況を報告。
  - ・地区研究懇談会担当委員：各地区の開催予定を報告。
  - ・倫理規定検討委員会：性質上、規定という形がなじむのかどうか検討中であることを報告。
  - ・学会賞選考委員会：学会奨励賞の選考が進んでいることを報告。
  - ・文化人類学教育特別委員会：フィールドワーク教育用副読本作成の進捗状況を報告。
  - ・『文化人類学中事典』編集委員会：12月25日に配本予定であることと、学会編であるため会員、執筆者へ割引があること、刊行に際し学会誌に広告を出すことを報告。また、学会主催に準ずる扱いとし、会員宛名ラベルを丸善へ提供することが承認された。

#### [審議事項]

1. 大学評価・学位授与機構への機関別認証評価委員会専門委員候補者の推薦について
  - ・大学評価・学位授与機構への機関別認証評価委員会専門委員候補者の推薦依頼があったことが報告され、候補者については総務会に一任し、事後報告することが承認された。
2. 学術会議主催「新法人法への対応シンポジウム」について
  - ・栗田総務担当理事より、学術会議主催「新法人法への対応シンポジウム」に出席したこと、その内容が報告された。
  - ・シンポジウムでは、税制上の扱いについて、メリット・デメリットの説明があったが、非営利型の法人化にメリットが少ないことから、理事会における検討の結果、当面は現状のまま、法人化への検討は保留とすることが承認された。
3. 学会誌広告料値下げについて
  - ・学会誌広告料の値下げについて提案があり、編集委員会で検討を行なうこととした。

以上